



『ながし そうめん』

ささきみお／作・絵 すずき出版 2019

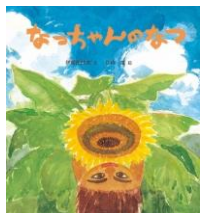
ながし そうめんを はじめたら おともだちが つぎつぎに やってきます。それぞれ おいしいものを ながして おおよろこびです。みんなで たべる ながし そうめんは たのしくて おいしそう。さて どんな おともだちが やってくるのかな？ それから どんなものが ながれてくるのかな？



『きんぎょすくいめいじん』

松成真理子／作 講談社 2019

まつりのひ、ぼくは きんぎょすくいに ちょうせんしました。ぜんぜん とれないのを見て、となりにいた おとこのこが きんぎょを いっぴき くれました。なんと そのこは「きんぎょすくいのめいじん」だったのです。それから きんぎょすくいの とっくんが はじまりました。



『なっちゃんのなつ』

伊藤比呂美／文 片山健／絵 福音館書店 2019

なっちゃん は かわらに でかけました。くさが おいしげり、はなが さき、むしたちも たくさん。さかなを のみこむ アオサギ、あちこちで しんでいる セミ、いのちを かんじます。すると、とおりにあめに ふられ、いえに かえりました。なつの しぜんを かんじることが できる えほんです。



『しろちゃんとはりちゃん なつのいちにち』

たしろちさと／作・絵 ひかりのくに 2019

なかよしの しろちゃん と はりちゃんが、いっぽんの アイスクャンディを とりあって おおげんかを してしまいます。それぞれ ひとりで あそびに でかけたけれど、やっぱり さみしくなってしまう。ふたりは ちゃんと なかなかおりに できるのか、はらはら ときどきする おはなしです。



『うみへいったちいさなカニカニ』

クリス・ホートン／作 木坂涼／訳 BL出版 2019

ちいさな カニカニが、おおきな カニカニと いっしょに、はじめて うみに でかけます。ところが、そこへおおきな なみが やってきて、こわくなってしまいます。それでも、おおきな カニカニに はげまされて いっぼずつ うみに ちかづいて いきます。ゆうきの できる えほんです。

なつ の えほん



2020

このブックリストは、出版社の許可を得て、表紙を掲載しております。 2020年7月
発行：宮崎県立図書館こどもしつ 電話(0985)29-2596



『ちいさな島のおおきな祭り』

浜田桂子／文・絵 新日本出版社 2019

おきなわけんの みなみの はじの たけとみじまでは、じゅうがつに たねどりさいの おまつりが あります。わたしは、おにいちゃんといっしょに、「おにとり」という おしばいに はじめて できることになりました。たいようが のぼると、ゆたかな みのりを いわう うたが きこえて きました。



『ねこぼん』

はやしすみ／作 偕成社 2019

おおきな みずうみの まんなかにある ちいさなしまは、だれもしらない ねこの しまです。なつの まんげつの よるになると、ごせんぞさんをおむかえして、たのしい ぼんおどりが はじまりました。そらが しろくなって よが あげるまで、みんなで いっしょに おどります。



『ナマコ天国』

本川達雄／作 こしだミカ／絵 偕成社 2019

ナマコには めやはな、みみがなく しんぞうや のうも ありません。からだの はんぶん いじょうが かわで できていて、こきゅうを おしりで しているのです。やさしく つつくと やわらかく、ギュッと すると かたくなって、こすると ドロドロに とけて しまいます。



『焼けあとのちかい』

半藤一利／文 塚本やすし／絵 大月書店 2019

「せんそうだけは、ぜったいに はじめては いけない」
B29が おとした しょういだんで ひのうみになった とおりを にげつづけたあと、わたくしは おおぜいの ひとが おぼれている かわに おっこちて しまいました。ただただ しにもぐるいで、うかびあがろうと しました。



『海ガラスの夏』

ミシェル・ハウツ／文 バグラム・イバトゥーリン／絵 島式子／訳 島玲子／訳 BL出版 2019

おばあちゃんの 家で 夏を 過ごしていた トーマスは、海岸で 海ガラスを 見つけました。海水や 砂にもまれ、時を経て、丸くなった 海ガラス。その ひとつひとつに 物語があるという 話を 聞くと、トーマスは、小さな 海ガラスから ひろがる、壮大な 物語を 夢に 見るのでした。



『ほうさんちゅう』

かんちくたかこ／文 アリス館 2019

5おくねん まえから うみに ただよって くらしている ちいさな ちいさな いきもの「ほうさんちゅう」。むしみたいな なまえだけれど、むしでは ありません。とげとげ ぶつぶつによきによき いろんなかたちを しています。「ほうさんちゅう」の ふしぎが わかる えほんです。



『なつのもりのかぶとむし』

谷本雄治／文 サトウマサノリ／絵 文溪堂 2019

なつの ゆうぐれ、おおきな くぬぎのきには、あまくて おいしい しるが たまっています。そこへ、かぶとむし、くわが たむしが やってきて、しょくじが はじまりました。ところが、かぶとむしと くわがたむしは、ぼしょの とりあいで、けんかをはじめました。



『プールのひは、おなかいたいひ』

ヘウオン・ユン／作 ふしみみさを／訳 光村教育図書 2019

きょうは、すいえいきょうしつ の ひです。でも、おながか いたくなり プールに はいることができません。すると せんせいが いっしょに はいってくれました。ゆうきをもって ちようせんしてみると すこしずつ プールが すきになり、ひとりで はいれるようになつてきました。



『夏とおとうと』

ふくだいわお／作 光村教育図書 2019

あるなつのひ、むしとりに でかけようと すると、おとうとの しゅんも つれていきなさいと、おかあさんに いわれます。みちの とちゅうで、おとうとは ないたり、こうえんであそびたがったり するので、なかなか さきに すすみません。



『まほうの絵本屋さん ようこそ海へ』

小手鞠い／作 えがらしみちこ／絵 出版ワークス 2019

ぼくが、てんごくにいった マリンとの おもいで すなはまを あるいていると、えほんやさんに たどりつきました。そこで、しろねこさんが えほんを よんでくれました。いつのまにか ぼくとマリンは、おはなしのなかで そらとぶくじらに のって たびをします。